

4月1日、 公益社団法人へ移行決定!!

鹿児島県公益認定等審議会からの答申を受け、平成24年3月19日、鹿児島県知事より当協会の公益社団法人への移行が認定されました。4月1日に登記を行い、

「公益社団法人鹿児島県特産品協会」が設立されます。

今後、5月下旬の理事会を経て、6月中旬に第1回の総会を開催する予定です。

「なんばグラウンド花月」の芸人名看板に 屋久杉と大島紬のコラボ製品決定!!

大阪市にある吉本興業の劇場「なんばグラウンド花月」の今年4月からのリニューアルオープンに伴い募集した伝統工芸品を用いたオリジナル看板に、本県の屋久杉と本場大島紬を活用した看板の採用が決定しました。

「看板“芸人の看板だけに、多くの方に本県の工芸品の魅力をPRする貴重な機会になりそうです。”

最初の掲示は今秋より3ヶ月間の予定で、劇場の入り口に掲げられ



「全線開業から一年」 ふれあいを大事に継続的な情報発信を!!

九州新幹線全線開業から1年が経ちました。開業前日に発生した東日本大震災の影響で静かなスタートでありましたが、関西、中国地方や北部九州から観光・ビジネス客を運び、鹿児島県内に大きな経済効果をもたらしました。

九州新幹線全線開業から1年が経ちました。開業前日に発生した東日本大震災の影響で静かなスタートでありましたが、関西、中国地方や北部九州から観光・ビジネス客を運び、鹿児島県内に大きな経済効果をもたらしました。

てみてはいかががでしょうか。幸い、大阪からの直通新幹線の増加による修学旅行や団体ツアーの誘客、鹿児島空港からの台湾線、関西への格安航空の就航など新たな需要が期待できる材料もあります。

鹿児島地域経済研究所の推計によると、11年度の県外宿泊者数の見込みは前年度比2割増の7,982千人で、463億円以上の経済効果があったとされております。



全線開業一周年記念イベント(3/17~18鹿児島中央駅前アミュ広場)での特産品販売の様子

一方、大隅半島や離島など効果の波及が十分でない地域もあります。全線開業で高まった鹿児島への関心をうまく活かし、当協会などが実施する物産観光展などで販路拡大を図つ

開業2年目の落ち込みを懸念するご意見もあるようですが、まだまだ好機であることを十分に認識して、それぞれが知恵を絞り具体的に動いていきましょう。

「上海マーケット開発推進事業」
中国輸出成功へのヒント

当協会では、鹿児島県と共催で、3月1日は鹿児島市で、2日は薩摩川内市で中国への輸出促進セミナーと商談会を開催しました。北京や天津など華北地区の百貨店等に販売拠点をもち、現地料理店等への卸業務を行っているモリタフーズ株式会社の君島英樹社長など3名の方からいろいろなおアドバイスをいただきましたので、一部を紹介します。

- ① 昨年11月、中国への輸入が一部解禁されたが、関東・東北の10都県で製造、加工された商品は現在も輸入が止まっている。この地域にはナショナルブランドの工場が多いため、震災前は輸出ができていた商品も、輸出できない状況であり、他地方の商品が求められている。
- ② 中国では、通関や現地の輸入衛生許可書の取得には時間がかかるので、日本の工場を出荷してから中国の小売店の店頭の商品を並べるまで約40日かかる。このようなことから賞味期間は最低6ヶ月が必要となる。

- ③ 中味がわからないものは買わないため、商品パッケージで商品をイメージできるものが多い。たとえば、みずみずしく美味しそうな商品画像を加え、手に取りたくなる、食べたくなるようなパッケージにする。
- ④ 裏面には、レシピの紹介など加えるとよい。
- ⑤ 外装にスペースがあれば、英語や中国語などいくつかの言語で記載すると、外国の方にも親切である。
- ⑥ 会社のロゴ、商品名など商標について販売前に事前調査が必要。
- ⑦ 表示について、2012年4月から原材料の全表示が義務づけられるため、ラベルの見直しが必要。
- ⑧ 表示について、2013年1月からは栄養成分表の記載が必須となる。



2会場で28社が商談を行った。

What's compliance “マナーアップかごしま” 接遇のポイント(第3回～電話の受け方～)

今回は電話を受ける場合の注意点についてです。電話の受け方ひとつで印象は変わります。参考にして、実践いただけたら幸いです。

状況	ポイント	内容
ベルが鳴ったら	なるべく早く電話をとる	ベル音3回以内 「はい、〇〇商店でございます。」
		3回以上鳴った場合 「お待たせいたしました。〇〇商店でございます。」
		さらに数回鳴った場合 「大変お待たせいたしました。〇〇商店でございます。」
第一印象は声で決まる	相手が目の前にいるつもりで	少し声を高め、明るく元気な声で
相手を確認し、挨拶する	まず、メモをとる 確認のため復唱する	確認・挨拶 お客様の場合 「〇〇様でいらっしゃいますね。いつもありがとうございます。」
		取引先の場合 「〇〇会社の△△様でいらっしゃいますね。いつもお世話になっております。」
		相手が名乗らない場合 「恐れ入りますが、お名前をお伺いしてもよろしいでしょうか。」
		名前が聞き取れない場合 「恐れ入りますが、少しお電話が遠いようですので、もう一度お名前をおっしゃっていただけますか。」
用件を承る	復唱し、確認する 5W1Hでメモをとる	「はい、〇〇でございますね。かしこまりました。(社内の人は呼び捨てにする)」 「念のため確認させていただきます。……ということでございますね。かしこまりました。」
返答	保留は短く	「ただいまお調べいたしますので、少々お待ちいただけますでしょうか。」
	30秒以上保留する場合	「恐れ入ります。少々時間がかかりそうなので、お調べてから〇分後にこちらからご連絡さしあげたいと存じますが、いかがいたしましょうか。」
	社内で人を呼ぶ時、 相談する時は必ず保留	社内の人に向けて声を出す時には、必ず保留にします。うっかり相手に聞こえてしまいます。
終わりの挨拶	本人の名乗り・ご挨拶	「私、〇〇と申します。確かに承りました。失礼いたします。」
	相手よりも後に受話器を置く 静かに受話器を置く	電話はかけた方が切るのが基本。受けた電話を切る時は、相手が切ったのを確認してからそつと受話器を置きます。